

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	肝付町役場	代表者名	永野和行
担当者部署	デジタル推進課	連絡先電話番号	0994-65-2513
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	中窪悟
住所	893-1207 鹿児島県肝付町新富98番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	身近なGoogleのサービスやRESASなどを引き合いに、データの在り方や活用方法をわかりやすく説明して頂けた。またワークショップでは町が公開している実際のオープンデータを利用したもので業務への活用がイメージしやすいものだった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月20日	9時30分	12時00分	10	140
3-2. 派遣場所	会場名	肝付町役場		最寄駅	JR志布志駅
	所在地	鹿児島県肝付町新富98番地		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	今後のDX人材育成に向けた全庁的な意識の醸成	
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	5年内に町独自の人材育成プログラムと制度を確立したい。まずは初歩的な講演やワークショップを定期的に行うことで、庁内のDXに向けた意識の醸成を図る。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	初歩的なデジタルツールの紹介とオープンデータを活用した簡単なデジタルマップの作成ワークショップを通じたDXに対する理解の促進	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	普段から身の回りにあるサービスを業務に関単に活かせることを知り、早速活用イメージが浮かぶなどデジタルツールは身近であることを理解し	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
具体的な成果物	初回ということもあり意識の醸成はまだこれからである。今後も定期的に研修会を実施していくことで、着実に意識の醸成を図りたい。	
改善又は解決されなかった内容持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
アンケートの内容と分析結果	先ずは実施してみることに、アンケート疲れを回避したかったため今回はアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	5年後に独自のDX人材育成研修制度を確立すること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

